

号外

Japan Trucking Association



広報 とらつく

毎月1日・15日発行
1月20日号
発行所 公益社団法人 全日本トラック協会
〒160-0004 東京都新宿区四谷三丁目2番地5
全日本トラック協会会館
☎(03) 3354-1029 (総務部広報室)
https://jta.or.jp

被災地の「想い」に「真価」を發揮!!

M7.6
最大震度7

令和6年能登半島地震

坂本会長が現場へ



「令和6年能登半島地震」における緊急物資輸送の状況などを確認した坂本克己会長(写真右から2人目)と齊藤鉄夫国土交通大臣(写真④)。久安常信石川県トラック協会会長(写真⑤)も同席した(1月17日、石川県産業展示館)



馳浩石川県知事(左から3人目)を訪ねた坂本克己会長(右から3人目)。石川県選出の佐々木紀自由民主党衆議院議員・国土交通部会長(左から2人目)、久安常信石川県トラック協会会長(右から2人目)も同席した(1月17日、石川県庁)



ヤマト運輸(株)北関東統括ソリューション設計担当マネージャー三雲清貴氏(④)から説明を受ける坂本克己会長(⑤)と齊藤鉄夫国土交通大臣(中央)(1月17日、石川県産業展示館)



石川県の第1次集積所となった石川県産業展示館から飲料水1万ℓ(3台分合計)を積載し、同県羽咋市のJAはいく雁田倉庫へ向かう大型トラックの緊急輸送車両3台(1月8日、のと里山海道)

令和6年1月1日に発生し、最大震度7の地震。被災地では多くの建物や道路が被害を受け、津波による被害も発生。被災者への支援を急ぐ中、緊急物資輸送活動が展開されている。...

令和6年能登半島地震に係る被害状況
■地震概要
①1月1日16時10分の地震
震源地：石川県能登地方
規模：マグニチュード7.6(暫定値)
震源の深さ：16km(暫定値)
震度：震度7=石川県志賀町、輪島市、珠洲市、穴水町
震度6強=石川県七尾市、輪島市、珠洲市、穴水町
②地震活動の状況
18日6時現在、震度1以上を観測した地震が1,442回発生。
■被害状況
死者 232人
重傷者 250人
軽傷者 759人
住宅被害 全壊54棟、半壊805棟
避難者数 17,148人
※出典：政府非常災害対策本部発表資料(1月18日9時00分現在)

緊急輸送トラックが奮闘

全国から第1次集積所へ政府が「プッシュ型支援」

広域物資拠点に「石川県産業展示館」を設定トラックが続々到着

1月1日の令和6年能登半島地震発生以来、国は支援物資を調達し、広域物資拠点(第1次集積所)に設定した金沢市の「石川県産業展示館」へ1次輸送する「プッシュ型支援」を実施中である。輸送品目は、食料、飲料水、毛布、段ボールベッド、ブルーシート、衛生用品等、物資供給事業者が輸送手段を確保できない場合、政府災害対策本部から国土交通省へ協力を要請。国土交通省から全日本トラック協会へ協力要請があり、全ト協はトラックの手配を確実に実施している。また、県の物資拠点から市町の物資拠点への2次輸送は、自治体からの要請に応じた石川県トラック協会および自衛隊による輸送で対応している。さらに、市町の物資拠点から各避難所への3次輸送は、主として市町の職員や自衛隊が車両や徒歩などで輸送。市町の物資拠点の荷捌きや物資管理の効率化および、ラストマイルの着実な配送のために、市町に隣接する珠洲市、日本通運・ヤマト運輸(輪島市、佐川急便、能登町、七尾市)、石川県トラック協会(手取町、七尾市)が協力、奮闘している。さらに、自治体等独自の依頼により、各県のトラック協会の協力の下、緊急物資輸送を行うトラックも多数見受けられた。(国土交通省資料より、1月19日現在)



石川県産業展示館を目指して、大阪市災害用備蓄倉庫を出発する大阪運輸倉庫株式会社の4トトラックを見送る坂本克己会長(1月5日、大阪府)



現場に足を運んだ坂本克己会長(左)。久安常信石川県トラック協会会長(右)も同行した(1月18日、穴水町)



全国からの支援物資搬入を受け、被災地ごとのニーズに合わせて大・中・小型トラックへ積み替えて第2次集積所等へ向かう(1月6日、石川県産業展示館)



穴水町役場を訪れた坂本克己会長(右から2人目)と久安石川県トラック協会会長(同3人目)(1月18日、穴水町産業展示館)

石川県トラック協会が第2次集積所までを手配



発災直後から石川県トラック協会内に設置された石川県協会の災害対策本部では、主に「石川県産業展示館」から能登半島の各市町の第2次集積所等への物資輸送を担うトラックを手配するなど、不休の活動を続けている(1月7日、石川県トラック協会危機対策室)



石川県トラック協会の緊急正副会長会議が開催され、現時点での緊急輸送実績や問題点、今後の改善点などを協議した。また当日は、全日本トラック協会の山崎専務理事、齋藤晃交通・環境部長らが同席した(1月13日、石川県トラック協会役員室)



政府手配車両とともに、自治体等独自の依頼により到着するトラックも多数見受けられた(1月6・8日、石川県産業展示館)



全日本トラック協会内に設置された「令和6年能登半島地震対策本部」

また全ト協では、緊急物資輸送のさらなる円滑化を図るため、同日に政府の非常災害対策本部に職員を派遣したほか、同日からは特に甚大な被災地である石川県協会の業務支援のため、職員2人を派遣した。

全日本トラック協会は、1月1日16時10分に令和6年能登半島地震が発生したことを受けて、同日16時55分に坂本克己会長を本部長とする「令和6年能登半島地震対策本部」を設置。国が行う「プッシュ型緊急物資輸送」への対応にあたることを決定した。全ト協では、能登半島地震の発生を受けて、坂本会長の指示の下、全日本トラック協会防災業務計画(第14条の規定)に基づき、同本部を設置。指定公共機関(大手運送事業者、社)と連携して緊急物資輸送体制を構築し、プッシュ型緊急物資輸送への対応を進めた。

坂本会長を本部長に 対策本部を設置

令和6年能登半島地震 被災地域で



輪島市沿岸部の、輪島マリンタウンも第2次集積所として運用されており、石川県ト協手配の中型緊急輸送トラックが被災者ニーズに合わせて支援物資を輸送している(1月15日、輪島市・輪島マリンタウン)



写真で見える主な活動状況

広域物資拠点から第2次集積所などへ連日緊急輸送を展開



能登半島内の道路事情が厳しいため、早朝に出発する緊急輸送車両が多いが、天候や渋滞にも左右され、現地への到着や帰庫は日没を迎えることも多い[左上]。現在(1月19日)も被災地のほとんどで停電と断水が続いており、荷卸しの際にはトラック荷室内のライトが有効に機能する場合もあった(1月6日、能登町・柳田体育館)



能登半島最先端部、珠洲市の第2次集積所として運用されている珠洲市健民体育館へ到着④し、自衛隊員などの手も借りて、パーテーションホールなどを撤入する。ここでは、体育館の正面玄関ではなく、横の出入り口を活用。雨や雪をよける屋根と、トラックの荷台との高さを調整するプラットフォームも設置された⑤(1月15日、珠洲市・珠洲市健民体育館)



被災地では道路が寸断されて孤立している地域も多いことから、自衛隊の輸送ヘリが活躍した。この場合トラックは第1次集積所からヘリポートとなった隣接駐車場への横持ち輸送を担った(1月5日、石川県産業展示館付近駐車場)



各市町の集積所へ悪路を越えて

能登半島内の道路損壊は激しく、発災当初は輪島市や珠洲市まで輸送可能なルートは一本に絞られ、大型トラックについても、羽咋市や七尾市までしか辿り着けないという厳しい状況下での輸送を強いられた。
写真①…穴水町内中心部の橋に大きな段差ができて、中型トラックなどは最速行が求められた(1月6日、穴水町)。
写真②…山間部だけでなく市街地でも土砂崩れが発生。片道交互通行となる区間もあった(1月6日、穴水町)。
写真③…各地で電柱や信号機などが倒れたほか、傾いたままで運用されていた箇所もあった(1月15日、輪島市)。
写真④…橋の段差や路面の崩壊などが各地で発生し、迂回を余儀なくされる箇所が多数発生した(1月15日、七尾市)。



羽咋市のJAはくい雁田倉庫に到着した、飲料水を積載した大型トラック3台。フォークリフトを使用し、パレット積みのまま全量を荷卸しすることができた。なお、フォークリフト使用が可能な第2次集積所は多くなく、自衛隊員や現地の市町職員の手を借りることが多い。また、大型トラックによって第1次集積所から輸送されてきた飲料水を小型トラックに積み替えて避難所等へ輸送する[左上](1月8日、羽咋市・JAはくい雁田倉庫)



第2次集積所へ避難所間も活躍

被災者が身を寄せる避難所となった羽咋市や、避難所近くの集積所やセンターに物資を輸送する小型トラック(1月8日、羽咋市)。
写真⑤は、

令和6年 能登半島地震

能登半島 道路の緊急復旧の状況

(国土交通省道路局) (令和6年1月19日(金) 7時00分時点)

○1/2から幹線道路の緊急復旧に着手。24時間体制を構築し、海側の国道249号の復旧に向け、(一社)日本建設業連合会により緊急復旧作業を順次実施。
○沿岸部では被災箇所が多数確認されているため、自衛隊と連携し、内陸側・海側の両方からくしの歯状の緊急復旧も進めており、既に9方向で通路を確保

緊急復旧の進捗率

| | | |
|-------------------|-----------|-----------------------|
| | 1/7 7時 | 現在 |
| 半島内の 主要な幹線道路 | 約6割 | ⇒ 約9割 |
| うち国道249号 沿岸部※1 | 約2割 | ⇒ 約8割 (迂回路を考慮:約9割) |
| 沿岸部への到達 ※2 | 6方向 | ⇒ 9方向 |

※1: 輪島市門前町～珠洲市役所、※2: 内陸側・海側の両方

孤立地区数の推移

| | |
|----------|--------------------|
| 1月5日8時 | 33地区 (最大3,345人) |
| 1月18日16時 | 5地区 (26人) |

※内閣府防災資料より



<緊急物資輸送の概要>

※主な緊急物資輸送のみ掲載

○プッシュ型緊急物資輸送(指定公共機関対応)

輸送品目: 水、食料品、生活用品、ブルーシート、段ボールベッド、パーテーション、ジェットヒーター、ガソリン携行缶、土嚢袋、携帯トイレ、仮設トイレ、消毒液、マスク等

車両台数: 85台(1月19日15時現在)

輸送先等: 第1次集積所(広域物資拠点): 石川県産業展示館4号館等

○石川県トラック協会の緊急物資輸送

輸送品目: 水、食料品、毛布、簡易トイレ、仮設トイレ、灯油、携行缶、発電機等

車両台数: 287台(1月19日15時現在)

輸送先等: 第1次集積所(広域物資拠点: 石川県産業展示館4号館)から2次拠点等

※各県トラック協会においても、関係自治体との協定に基づく緊急物資輸送手配を実施中

<道路通行止め情報> (国土交通省情報: 1月19日12:30現在)

- ①高速道路 1路線1区間で通行止め
 - 能越道(のと里山空港IC～穴水IC)【1区間】道路崩落等
 - ※能越道(のと三井IC～のと里山空港IC) 18日7時通行止め一部解除(輪島から穴水方面(南向き)のみ通行可能)
- ②直轄国道 1路線1区間で通行止め
 - 国道8号(新潟県上越市茶屋ヶ原)上下線通行止(土砂崩落)
 - ※1/2 6:30より国道8号通行規制に伴う北陸自動車道・上信越自動車道の一部区間の代替路(無料)措置中
- ③補助国道 3路線24区間で通行止め
 - 国道249号(石川県志賀町大福寺)土砂崩れ
 - 国道249号(石川県七尾市直津町)道路段差
 - 国道249号(石川県七尾市中島町小牧)路面亀裂
 - 国道249号(石川県七尾市東山町)土砂崩れ
 - 国道249号(石川県珠洲市真浦町)土砂崩れ
 - 国道249号(石川県珠洲市真浦町)土砂崩れ
 - 国道249号(石川県珠洲市仁江町)土砂崩れ
 - 国道249号(石川県珠洲市大谷町)土砂崩れ
 - 国道249号(石川県珠洲市若山町)法面崩壊
 - 国道249号(石川県珠洲市大谷町)トンネル損傷
 - 国道249号(石川県輪島市名舟町)土砂崩れ
- ④都道府県道等 3県72区間で通行止め
 - 石川県65区間
 - ※のと里山海道(徳田大津IC～横田IC)18日7時通行止め一部解除 徳田大津から穴水方面(北向き)のみ、緊急車両等に限り通行可能
 - 新潟県2区間
 - 富山県5区間